

平成27年度
事業報告書

公益財団法人 帆船日本丸記念財団

目 次

1	平成 27 年度事業概観等	2
2	帆船日本丸事業	3
3	横浜みなと博物館事業	4
4	みなとの賑わい創出事業	6
5	緑地管理及び研修施設事業	7
6	集客増に向けた重点取組	9
7	帆船日本丸公開 30 周年記念イベント及び 「世界海の日パラレルイベント 2015」関連イベントの取組	11
8	組織運営の質的向上に向けた取組	12
9	事業一覧表	14

1 平成27年度事業概観等

(1) 施設概要

- ア 施設名
日本丸メモリアルパーク
- イ 所在地
横浜市西区みなとみらい二丁目1番1号
- ウ 対象施設等
 - (ア) 帆船日本丸
総トン数 2,278t
 - (イ) 横浜みなと博物館
7,155.31 m²
 - (ウ) 研修施設
873 m²
 - (エ) 緑地
38,100 m²
 - (オ) その他
タワー4棟

(2) 施設管理者

- ア 共同事業体
帆船日本丸記念財団・JTBコーポレートセールス共同事業体
- イ 代表団体
公益財団法人 帆船日本丸記念財団
- ウ 代表者
会長 金近 忠彦
- エ 所在地
横浜市西区みなとみらい二丁目1番1号
- オ 設立
昭和59年10月1日
- カ 指定管理者期間
平成23年4月1日～平成28年3月31日（第2期）

(3) 事業概観

平成27年度は第2期指定管理期間の最終年度にあたり、第3期指定管理を獲得するため当財団にとって極めて重要な年度になることから、職員一丸となり新たな魅力づくりとみなとの賑わい創出に向け、多様な事業に取り組みました。

特に昨年は、帆船日本丸が横浜で公開されてから記念すべき 30 周年を迎えたことから、4 月の記念式典をはじめとした様々な記念イベントを開催するとともに、7 月には国際海事機関の加盟各国による「世界海の日パラレルイベント」が日本で開催されたため、この関連イベントに協力しました。

また、帆船日本丸・横浜みなと博物館の総合入場者数は、対前年比 4.1% 増の 208,237 人となり、横浜市との協約目標である 20 万人を達成することができ、観覧料収入も対前年比 1.6% 増の 31 百万円となりました。日本丸メモリアルパークの利用者数につきましても、対前年比 7.2% 増の 138 万人と横浜市との協約目標である 129 万人を達成し、多くの市民、来訪者にメモリアルパークを楽しんでいただきました。

昨年 8 月には第 3 期の指定管理者の公募が行われ、平成 28 年度から始まる第 3 期の指定管理者には当財団と株式会社 JTB コミュニケーションズ（現 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン）の共同事業体が選定されました。

2 帆船日本丸事業

帆船日本丸乗船観覧者数が、横浜に誘致され一般公開を開始してから平成 27 年 5 月 30 日（木）に 500 万人に達しました。

平成 27 年度は年次船体整備の他に休館日を重点整備に充て、帆装、消防設備、排水設備を中心に、さらに居住区等の公開区域の保守整備に努めてきました。

また、海事思想の普及活動の一環として、日本丸を活用した市民参加型の事業展開を図り、市民の皆様に日本丸の事業活動をより理解していただけるよう努めました。



5 月 30 日に 500 万人達成

(1) 保存事業

帆船日本丸を良好な状態で保存するために次の整備を行いました。



良好な保存を目指し万全な整備

- ア 日常保守点検
 - (ア) 観覧者通路・公開区域の安全点検整備
 - (イ) 船内及び甲板清掃、船内真鍮磨き
 - (ウ) マスト、ヤードその他帆装の点検整備等
- イ 年次船体整備
 - (ア) 中間検査受検工事

「船舶安全法」に基づく検査を受検、合格しました。

- (イ) 木甲板一部新替
 - (ウ) ハンドキャプスタン木製ライナー新替等
- ウ 災害防止
- (ア) 観覧者、総帆展帆協力者及び甲板整備協力者の安全の確保
 - (イ) 船内防災センターにおいて火災、浸水及び不法侵入者等に備えて 24 時間体制で集中監視を実施

(2) 公開事業

年間 290 日に対し、船内を年間 292 日一般公開しました。日本丸乗船経験のあるガイドボランティアによる船内ガイドを公開日に毎日実施し、お客様に大変ご好評頂きました。ガイドボランティアの登録人数は 2 名増加しました（全 45 名）。27 年度も同様に、お客様のご意見を反映させることにより、サービスの向上に努めました。また、当初予定した回数の総帆展帆（12 回）



国土交通大臣表彰式

や満船飾（13 回）を行い賑わい創出を図りました。展帆ボランティアに新たに 13 名が参加しました（全 2,221 名）。永年の活動が認められ、展帆ボランティア（かもめ会）については、平成 27 年 7 月国土交通大臣表彰（海事関係功労表彰）を受賞されました。

新たな取組として、フェイスブックを活用した広報活動に取り組み、帆船日本丸の魅力だけでなく、工事中の船内見学等普段見えない箇所の実態を多くの皆様にお伝えするように努め、市民の皆様から現在の姿で建造 100 年保存に対する理解を得られるように努めました。

(3) 青少年錬成事業

帆船日本丸及び訓練センターを活用して、青少年錬成のための海洋教室を日帰りコース 8 回、宿泊コース 15 回実施し、参加者 1,228 名となりました。宿泊コースでは、実施学校と事前に訓練プログラムを調整し、希望に沿ったプログラムで実施しました。



海洋教室での
カッター訓練

3 横浜みなと博物館事業

平成 27 年度は、市民ボランティアとともに、展示案内や教育普及活動、アウトリーチ活動（出前講座）を通して、船や港、海に親しみ、関心を深めてい

ただけるように、こどもから大人、ファミリーまでが興味をもって楽しんでいただける体験的なプログラムを行いました。

特別展示事業では、春に日本丸公開30周年を記念して、帆船日本丸を中心に、主に小学生を対象に行われている海洋教育の活動を紹介する「帆船日本丸と海洋教育展」を開催しました。

関連行事では、マリンスクール修了生の子どもたちが来館者にロープワークを指導するワークショップ「キッズが教える海のロープワーク教室」や、航海に必要な天体高度の測り方を帆船日本丸船長が教える「日本丸船長のカンタン海と天体の航海講座」などを開催しました。「キッズが教える海のロープワーク教室」は子どもたちによる熱心な指導が参加者に好評でした。

夏には全国の海事系博物館14館の共催事業として「第20回『海の日』記念特別展『日本全国、海、船、港の博物館大集合』」を当館で開催し、各館の自慢の逸品と館の概要や特徴を紹介しました。会期中ペーパーモデルやぬり絵などのワークショップを行い多くの人が訪れ、盛況でした。

また、秋に横浜周辺を中心に観光資源としての海辺の変遷を紹介した企画展「愛すべき海辺の観光の今・昔」を開催しました。関連行事は船に乗り、学芸員の解説で海から横浜の新しい観光エリアのウォーターフロントをめぐる「なるほど横浜 海の観光散歩」を実施しました。



<海洋教育展>
キッズが教えるロープワーク教室



<博物館大集合>
ペーパーモデル



<海辺の観光展>
なるほど横浜海の観光散歩

(1) 常設展示事業

入館者に常設展示をよりよく知り、楽しんでいただくために展示案内ボランティアによる展示案内、説明を毎日実施しました。展示品のメンテナンスは、日常の職員による点検・保守や不具合の修理、定期保守点検を行い、良好な状態で見学できるよう努めました。

27年度は新たな展示として、「大さん橋の建設」に、大さん橋で使用されたスクリーパイル（鉄螺旋杭）のねじ込み方法を解説した動画「大さん橋の作り方」の映像を設置して、来館者の理解の一助としました。また、完成した南本牧ふ頭MC-3コンテナターミナルなど展示情報の更新を適宜実施しました。



動画「大さん橋の作り方」
の映像を設置

(2) 特別展示事業

展 覧 会 名	会 期
帆船日本丸公開 30 周年記念 「帆船日本丸と海洋教育展」	4 月 25 日～6 月 14 日
東日本大震災 第 4 回 「石巻かほく復興写真展」	6 月 27 日～7 月 5 日
第 20 回「海の日」記念特別展 「日本全国、海、船、港の博物館大集合」 ※海事系博物館 14 館の共催事業	7 月 18 日～8 月 9 日
企画展「愛すべき海辺の観光の今・昔」	10 月 10 日～11 月 23 日



<帆船日本丸と海洋教育展>

横浜マリンスクールの活動紹介

<海の日記念 博物館大集合展>

横浜みなと博物館のコーナー

<海辺の観光展>

明治時代の海水浴着（復元）
東京家政大学博物館蔵

(3) 教育普及事業

年間を通して小・中学生及び大人を対象とした各種教育普及活動を積極的に行いました。25 年度に開始した「船と港の夏休み自由研究」は約 200 名もの小学生の参加がありました。市内の小学高学年向けには、海と船に親しむ 1 年間のプログラムによる横浜みなとキッズクラブを実施しました。また、入館者向けに毎週土曜日はキッズのためのクイズラリーと、2 月には日曜日に大人のためのクイズラリーも実施してリピーター増、入館者増に努めました。土、日、祝日には教育活動ボランティアの協力で船の折り紙教室、ペーパークラフト教室を開催しました。

4 みなとの賑わい創出事業

(1) 水辺の事業

日本丸メモリアルパークの内水域及び自動車道側水域において、NPO 横浜シーフレンズと連携しシーカヤック教室を開催しました。

土日や祝日に開催する一般教室や子供教室、平日教室の追加開催のほか、

横浜カヌー協会と連携した「日本丸杯カヌーポロ大会」に加え、27年度は、横浜開港祭協議会と連携した「横浜開港祭マリニイベントとしての子供教室」を実施しました。横浜市立大学、横浜国立大学、神奈川大学に加え、新たに放送大学との連携教室を開催しました。

平成27年度のシーカヤック教室は、延べ85回開催し、1,430名(有料人数ベース)の方に御参加いただきました。また、平成27年度の『第4回日本丸杯カヌーポロ』大会は2日間の実施とし、より多くの方々に参加いただき、インナーハーバーの賑わい創出に貢献しました。



シーカヤック教室



カヌーポロ大会

(2) パーク利用事業 (イベント)

市民交流・リサイクル事業としてのフリーマーケット、吹奏楽演奏会をはじめとする音楽イベントなどを定期的に行いました。

夏のピカチュウイベントや Dance Dance Dance at Yokohama2015 といった横浜市のプロモーションイベントに加え、みなとみらい21サクラフェスタ2015、ヨコハマ大道芸2015などみなとみらい21地区のイベントに積極的に参加しました。

また、正月には、日本丸進水86周年を参加者と一緒に祝うモチつき大会を実施するなど、年間を通じてパークの有効活用を進め賑わい創出を図りました。



夏のピカチュウイベント



正月モチつき大会

5 緑地管理及び研修施設事業

(1) 緑地の維持管理・活用

ア 安全管理・美化

ドックゲートの塗装工事やアリーナの舗装補修など、劣化・老朽化している箇所を速やかに補修改善するなど安全安心な施設管理を行うと



ゴーヤが実った

ともに、LED化の推進や、人感センサー設置による省電力化、監視カメラの追加、蚊の駆除などに積極的に取り組みました。

年間を通じて季節に適した草花を配したほか、ゴーヤ、ウマノスズクサ、パッションフルーツ等からなるグリーンカーテンを職員の手で設置・育成し、夏の涼を演出しました。また「バタフライガーデン」や「バッタの原っぱ」の整備、ドック内でのアマモの育成など生き物にやさしい取組を行いました。



ナミアゲハの最終齢幼虫

さらに樹木や草花、芝生等を良好に維持管理するとともに、美化清掃を実施し、来園者が安全快適に過ごせる空間を提供しました。

イ グリーンボランティアのスタート

市民との協働による緑地の管理と魅力アップをめざし、西区役所や連合自治会のご協力のもと、グリーンボランティア活動がスタートしました。花壇やバタフライガーデン、芝生の手入れ等に活躍いただいています。



グリーンボランティアの活動

ウ 撮影

多くのテレビ番組やCMの撮影などにご利用いただきました。27年度は製作会社とのコミュニケーションを深めて、リピーターを増やすなどの利用促進を図りました。

エ 記念フォトブースの設置

来場記念撮影フォトブースを南回廊に設置し、来場者様向け新たな思い出づくりサービスを行いました。



来場記念撮影フォトブース

(2) 研修施設（訓練センター）の管理運営

駅からのアクセスも良く、利用者から好評を得ています。団体・法人・サークル等幅広くご利用いただけるよう、Web 上での予約状況情報の開示を定期的に行うとともに、機器利用に関する説明ページを新設したり、「貸教室・会議室案内」リーフレットを新規に発行したりするなど、利用者ニーズに対応し利便性向上に努めた結果、利用料金では前年度比 24.3%の増となりました。

6 集客増に向けた重点取組

主な取組は次のとおりです。

(1) 共同事業体を構成している株式会社 J T B コーポレートセールスと連携した取組

ア J T B の持つ販売チャンネルを活かしコンビニでの入館券販売を展開しました。

イ J T B 「旅いく」がプロデュースする親子向け体験型イベント「旅いく 2015 キッズフェスタ in 国営昭和記念公園」に出店し PR に努めました。

ウ J T B グループを始めとして、旅行会社へのインセンティブの展開を図りました。



旅いく 2015 キッズフェスタ in 国営昭和記念公園

(2) 学校や各団体への取組

ア 総務部全職員による神奈川県内（横浜市を除く）小学校への訪問営業を実施し、有料集客増を図るとともに、職員の営業マインドを養い、ホスピタリティを高める一助としました。

イ 鉄道乗入れや圏央道の開通などを踏まえた北関東等を中心にした学校や各団体に対しての効率的な営業を実施しました。



ウ 北陸新幹線開業にあわせ横浜観光コンベンションビューロー主催の「横浜商談会 in 富山・金沢」に参加し、地元旅行会社等への営業 PR を行いました。

横浜商談会 in 富山・金沢

エ 横浜マリノスと連携し、オリジナル帆船ペーパークラフトの作成やホームゲームイベントへの出店などを実施するとともに、横浜マリノスの広報媒体による情報発信を行いました。



横浜マリノスのイベントに参加

(3) 各種「キャンペーン」の実施

26年度実施のキャンペーンの結果を踏まえ、春休みや夏休み等に気軽に、かつお手ごろな料金で来館していただけるような料金設定で実施しました。

- ア 春休み親子ペアチケット（平成27年3月1日～4月12日）
- イ お得！サマーチケット（平成27年7月18日～8月30日）
- ウ 進水記念キャンペーン（平成27年12月6日～平成28年1月27日）
- エ 春の客船横浜港キャンペーン（平成28年3月15日～3月31日）

(4) インバウンド（訪日外国人客）集客増に向けた取組

新たな集客増に向け、Wi-Fi環境を整備しました。今後、増加が見込まれる訪日外国人観光客獲得への取組として、昨年度導入した



多言語パンフ

「多言語ガイドシステム」を活用するとともに、多言語パンフレットの作成・配布や多言語窓口案内表示の設置などを行いました。ホームページ上に英語ページを新設しました。

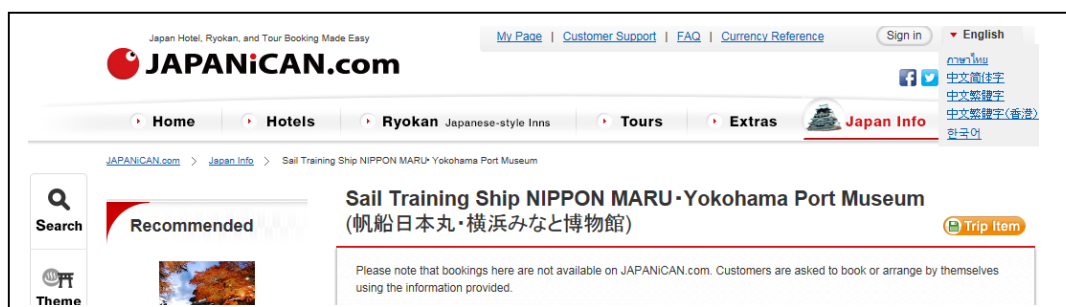
また、訪日外国人客対象の割引キャンペーン「Welcome to NIPPON MARU キャンペーン」、「春節期間外国人向けキャンペーン」やJTBグループが運営する訪日外国人客向けのウェブサイト「JAPANiCAN」での情報発信を行いました。

※横浜みなと博物館多言語ガイドシステム

スマートフォンや携帯端末の画面を利用して、英語、中国語（繁体字）、（簡体字）、韓国語及び日本語でご案内するものです。



※ JAPANiCAN.com <http://www.japanican.com/en/>（英語、繁体字、韓国語）



(5) 雑誌への広報

対象を絞った情報誌に記事や広告を掲載し、集客増を図りました。

ア 夏休みの集客を目指し、まっふる「家族でおでかけ夏休み」に掲載。

イ 夏休みの子ども工作など体験型事業を紹介する「かながわサイエンスサマー」に掲載。

ウ 学校修学旅行誘致用「教育旅行」に掲載。

(6) その他

公式 facebook を開設し広報活動を強化しました。

7 帆船日本丸公開 30 周年記念イベント及び「世界海の日パラレルイベント 2015」関連イベントの取組

(1) 帆船日本丸公開 30 周年記念イベント

ア 公開 30 周年記念式典

(ア) 日時

平成 27 年 4 月 29 日 (水・祝日)

(イ) 場所

日本丸メモリアルパーク

※当日は、総帆展帆・登しょう礼・満船 盛大に開催した 30 周年式典
飾を行い、新しい帆の帆船日本丸を初披露しました。

イ 『帆船日本丸記念財団 30 年のあゆみ』発行



(2) 記念イベント

ア Dance Dance Dance at YOKOHAMA2015 のパートナー事業
「ダンスイベント」の開催

イ ジャズフェスティバル at NIPPON-MARU の開催

フォーク・ロック・ミュージック・ロックヤードの開催

いずれも 5 月のゴールデンウィークを中心に日本丸アリーナで実施。

ウ だいすき！日本丸お絵かき作品展の開催

平成 27 年 6 月 3 日～6 月 28 日帆船日本丸船内で開催

エ 帆船日本丸新旧同時総帆展帆の実施及び横浜開港祭

にあわせた施設無料開放。

(ア) 帆船日本丸新旧同

時総帆展帆 平成

27 年 5 月 31 日 (日)

(イ) 無料開放 平成

27 年 5 月 30 日 (土)、

31 日 (日)、6 月 2 日

(火)



新旧帆船日本丸同時総帆展帆 (右が新日本丸)

※上記3日間、開港祭スタンプラリーにも参加しました。

オ そごう横浜店との協働事業

平成27年に30周年を迎えたそごう横浜店と共同し、日本丸の帆布を使ったデッキシューズ、バッグや帽子など、グッズの製作販売を実施しました。



そごう横浜店とグッズ製作販売

(3) 世界海の日パラレルイベント 2015 の関連イベント

平成27年7月に国際海事機関（IMO）の加盟各国による「世界海の日パラレルイベント」が日本で開催され、海洋立国日本を世界に発信するイベントとして、「海事教育及び訓練」をテーマにセミナー・パネルディスカッション・視察等が展開され、そのイベントに協力しました。



加盟各国の方が視察

パネルディスカッションのパネラーの一人に館長が参加するとともに、視察会場の一つとして帆船日本丸・横浜みなと博物館をパラレルイベント参加者の皆様にご視察いただきました。

※「世界海の日パラレルイベント」 国際海事機関（IMO）本部で開催する「世界海の日」とあわせ、加盟国で開催する国際イベント。

あなたのまちの海の日サポートプログラム 「学ぼう！海のしごと」を日本財団の助成を受けて実施しました。

ア 開催日

平成27年7月18日（土）・19日（日）

イ 参加者

240人

ウ 協力

横浜市子ども会連絡協議会



学ぼう！海のしごと

8 組織運営の質的向上に向けた取組

(1) コンプライアンス委員会の実施状況

外部委員も交え、常に適正な運営を行うためコンプライアンス委員会を

実施しました。

ア 実施日

平成 28 年 1 月 14 日

イ 内容

(ア) 平成 27 年度事故報告等について

(イ) マイナンバーへの対応について

(2) 各種研修会への参加

財団職員の能力開発・スキルアップ等を目的に「個人情報保護」、「接客対応」、「コンプライアンス」、「スキルアップ」や「防災・緊急時対応」等の研修会等を実施するとともに、横浜市や他団体が主催する研修会等に職員を派遣しました。



朝礼利用の接客研修

(3) 防災訓練の実施

9 月 10 日と 1 月 21 日に西消防署指導のもと、防災訓練を実施し迅速な初期対応の確認と減災意識の向上に努めました。



9 月の防災訓練

また、3 月 7 日に日本丸メモリアルパークを会場にして、みなとみらい 21 地区内の防災訓練にも参加しました。

(4) アンケート調査（モニタリング）の実施

総合満足度や係員の対応等は高評価を維持しています。参加型体験についても昨年に比べ認知度は高くなっていますが、引き続き広報プロモーションに努め、更なる認知度アップに取り組みます。一方、施設の場所の分かりやすさ、サインについては昨年度をやや下回る結果となりましたので、引き続き改善を図っていきます。

実施日 11 月 19 日（水）～23 日（月・祝） サンプル数 300

項目	内容	割合	前年比
総合満足度	満足+やや満足	99%	+1
場所	分かりやすい	94%	-2
進水 100 年保存	賛成	99%	+1
参加型体験	サンデーペーパークラフト	32%	+5
認知度	シーカヤック教室	38%	+6
係員の対応	満足度（総じて）良い	99%	+4
サイン	トイレ、エレベーター等分かりやすい	97%	-1

9 事業一覧表

【帆船日本丸事業】	
帆船日本丸公開 4月～3月	船内を年間292日程度一般公開、公開日は次の日を除く毎日 ・月曜日（祝日にあたる時は公開、翌日が休館日） ・年末（12月29日から12月31日まで） ・船体整備（1月末から2月下旬まで）
総帆展帆（12回） 延べ1,070人のボランティアが参加	4月29日（水・祝）、5月17日（日）・31日（日）、 6月14日（日）・28日（日）、7月20日（月・祝）、 8月2日（日）・30日（日）、9月23日（水・祝）、 10月12日（月・祝）・25日（日）、11月8日（日）
親子展帆	親子で展げよう親子展帆 6回実施（参加者214名）
満船飾（13回）	4月29日（水・祝）、5月3日（日・祝）・4日（月・祝）・5日（火・祝）、7月20日（月・祝）、9月21日（月・祝）・23日（水・祝）、10月12日（月・祝）、11月3日（火・祝）・23日（月・祝）、12月23日（水・祝）、1月11日（月・祝）、3月20日（日・祝）
海洋教室 4月～3月	半日・1日コース8回（参加者283名） 宿泊コース15回（参加者945名）
工事中の見学会	船の講座I 木甲板（Deck Planking） 2月11日（木・祝）4名参加
総帆展帆協力者登録数	2,221人（28年3月末） 総帆展帆協力者として登録されている市民ボランティア
帆船日本丸船内ガイド	登録ボランティア45人（ガイドボランティアによる船内ガイドを実施）
甲板清掃ボランティア	174日の作業日に延べ1,024人のボランティアがブラスワークや整備作業を行った。ベンディング・アンベンディングに4日間延べ205人のボランティアが参加した。

【横浜みなと博物館事業】	
常設展示事業 4月～3月	次の日を除く毎日公開 ・月曜日（祝日にあたる時は公開、翌日が休館日） ・年末（12月29日から12月31日まで） ・害虫燻蒸期間（1月26日～2月2日）
展示案内4月～3月	展示案内ボランティアによる常設展示の説明（登録ボランティア35人）
特別展示事業	①「東日本大震災 第4回 石巻かほく復興写真展」 会期 6月27日（土）～7月5日（日）
（新規）	①帆船日本丸公開30周年記念「帆船日本丸と海洋教育」 会期 4月25日（土）～6月14日（日） ・関連行事 日本丸船長のカンタン海と天体の航海講座 5月 キッズのためのシーカヤック体験教室 5月 キッズが教える海のロープワーク教室 4月～6月の週末 海洋教室公開展示 5～6月 ②帆船日本丸公開30周年記念 だいすき！日本丸お絵かき作品展 会期 6月3日（水）～6月28日（日） 近隣4保育園132人の園児が参加 ③企画展「愛すべき海辺の観光の今・昔」 会期 10月10日（土）～11月23日（月・祝） ・関連行事 海に親しもうーミニボート体験教室 10月 海に親しもうー横浜海釣り教室 10月 海に学ぶー親子の横浜海上散歩 11月 記念講演会 11月
教育普及事業	教育普及ボランティアの協力を得ながら次の事業を実施（登録人数27人） ①横浜みなとキッズクラブ（小学生高学年向け／年間） みなと博物館や日本丸、内水域、横浜港をフィールドにした体験型活動を同じメンバーで1年を通して行い、身近なところから海と船と港、くらしと環境などに親しみと関心を深める小学生（高学年）向け事業です。 ワークシートを使った博物館・日本丸探検や横浜港観察会、コンテナふ頭見学、シーカヤックなどを、7回ほど実施し、活動結果を館内に展示します。また活動の中で作成した新聞を応募し、（公財）日本海事広報協会ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞（学校奨励賞）を受賞しました。

土曜日事業	<p>②-1 キッズのためのクイズラリー（小・中学生向け／年間） 高校生以下入館無料の土曜日の小・中学生向け事業。展示をよく見て答えるクイズラリーを実施します。</p> <p>②-2 楽しい船の折り紙教室（こども向け／年間）</p>
日曜日事業	<p>③-1 サンデー・ペーパークラフト教室（ファミリー向け／年間）</p> <p>③-2 大人のためのクイズラリー（大人向け／6月、2月）</p>
祝日事業	<p>④ホリデーペーパークラフト教室（ファミリー向け／年間）</p> <p>⑤なるほど！ミナト散歩－開港の道コース－（6月20日（土））</p> <p>⑥親子の海図教室（7月25日（土））</p>
工作教室	<p>⑦カンタン！船の工作教室（5月3日（日）・4日（祝・月））</p> <p>⑧ソーラーで動く船工作教室（7月31日（金）・8月1日（土））</p> <p>⑨ポンポン船工作教室（8月2日（日））</p> <p>⑩モーターで動く船工作教室（8月15日（土））</p> <p>⑪船と港の夏休み自由研究（8月4日（火）～23日（日））</p> <p>⑫大人の海図教室（11月21日（土））</p> <p>⑬春休み・親子の楽しい船の見学会（3月下旬）</p>
調査・研究・収集・出版活動事業	<p>①資料調査・研究等事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜港を中心とした資料の調査、研究、収集、整理、保存を行い、その成果を公開及び展示・教育活動に反映。また、資料整理のデータベース化を推進しました。 <p>②出版活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博物館ニュース・年間行事予定表、企画展に合わせた図録等を出版しました。 <p>③資料貸出し・レファレンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の貸出・閲覧、写真撮影のほか、レファレンスサービスを行いました。

<p>ライブラリー事業</p>	<p>○横浜港や船、海に関する図書・逐次刊行物等を収集・整理・公開し、小学生から専門家に学習、研究の場を提供します。データベース化（約2万3千冊）の蔵書情報はライブラリー、ホームページで公開しました。</p> <p>①公開日・公開時間 博物館と同様</p> <p>②利用方法（料金等）</p> <p>・博物館の入館者の利用は無料。ライブラリーのための利用は1人100円。コピーサービス（有料）のほか、レファレンスサービスを行いました。</p> <p>③収集・整理</p> <p>・横浜港、港運、海運、船舶、航海等に関する図書、逐次刊行物等を収集・整理して配架します。また、図書のデータベース化を進めるとともに、保守点検を行い、良好な状態を維持しました。</p> <p>④その他</p> <p>小中学生の体験学習の受け入れのほか、アウトリーチ活動として、周辺区の教育事業や団体・企業の研修への出張講義など館外での活動を行いました。</p>
-----------------	---

【みなとの賑わい創出事業】	
(1)水辺の事業 シーカヤック教室	<p>①水辺の事業の柱として、水域及び汽船道側静水域で、NPO 横浜シーフレンズと連携した体験教室を年間通じて開催しました。 ・シーカヤック教室開催 85 回 1,430 名が参加、利用料金は前年度比 6%増</p> <p>②横浜開港祭協議会と連携し開港祭での子供カヤック教室を開催しました。(5月)</p>
(2)パーク利用事業 イベント	<p>①フリーマーケット 15 回 ②吹奏楽演奏会 13 回 ③ゴールデンウィークイベント(ファミリー向け) 音楽、参加体験事業・工作教室 ④ロックヤードライブ ファミリー向けを意識したライブステージ ⑤横浜市のプロモーション事業「踊る?ピカチュウ大量発生チュウ」「よこはまエンジョイウオーク」などを積極的に誘致し、連携して開催しました。 ⑥ハロウィンイベント(ファミリー向け) ⑦クリスマスイベント(ご夫婦・カップル向け) 子ども向けワークショップ等 ⑧冬のクリスマスイルミネーション ⑨正月モチつき大会</p>
緑地の維持管理・活用	<p>①安全管理・美化 ドックゲートの塗装工事やアリーナの舗装補修など、劣化・老朽化している箇所を速やかに補修改善するなど安全安心な施設管理を行いました。またパーク内の生き物に配慮した「バタフライガーデン」や「バタの原っぱ」の整備、ドック内でのアマモの育成に取り組みました。さらに、樹木や草花、芝生等を良好に維持管理するとともに、美化清掃を実施し、来園者が安全快適に過ごせる空間を提供しました。</p> <p>②グリーンボランティアの創設 市民との協働による緑地の管理と魅力アップをめざし、西区や地元連合自治会のご協力のもと、グリーンボランティアを創設しました。花壇やバタフライガーデン、芝生の手入れ等に活躍いただいています。</p> <p>③撮影 製作会社とのコミュニケーションを深めて、リピーターを増やし、利用促進に努めました。 利用件数前年度比△4% 利用料金前年度比△6%</p>
研修施設(訓練センター)の管理運営	<p>①駅からのアクセス、低廉な利用料金など利用者から好評の会議室の貸し出し(12月29日～1月3日を除く、休館日を含めた年間)を、Web 上で施設予約状況確認等が行えるよう更新間隔・公表期間の見直し、機器利用のページ新設により利用者の利便性向上に努め、今まで以上にリピーター利用者の増加を図りました。 ・リーフレット日本丸メモリアルパーク「貸教室・会議室案内」を発行しました。 ・利用件数前年度比 11.0%増、利用料金 24.3%増</p>

【集客増のに向けた重点取組】

団体への取組

- ①横浜市をはじめ神奈川県内小学校の遠足・学校行事誘致のための、タイムリーな情報発信・訪問営業の継続。また、首都圏小・中・高等学校遠足の誘致、全国からの修学旅行誘致のための情報発信の継続、加えて横浜観光コンベンションビューローの教育旅行誘致事業と連携した活動を行いました。
- ・関東近県や首都圏を修学旅行候補地としている北海道、東北、中部などの小・中学校(一部高等学校)に来館誘致のDMを送りました。
 - ・新幹線開通や鉄道相互乗り入れを考慮した営業を行い、横浜観光コンベンションビューロー主催の「横浜商談会 in 富山・金沢」へ参加しました。
 - ・来館誘致資料について、配布地域や小中高学校それぞれの特性に応じて内容を工夫しました。(北関東等を中心とした学校・団体への営業等)
 - ・横浜市内向け来館誘致資料については、さらに学年等に応じた内容としました。
 - ・団体向け、学校向け Web ページを新設し、発信内容を工夫しました。
 - ・下見を重視し、実際の見学に結びつくよう、配布資料の内容を改善しました。
- ②地域の保育園・幼稚園との参加型イベントを継続して実施しました。
- ③旅行会社向け特別原価の提供を通年施策に変更し、施策の定着に向け団体誘致を図りました。
- ④旅行会社への取組
- ・JTB グループを始めとする旅行会社、JR 東日本を始めとする鉄道各社旅行部門へ定期的に情報発信し、個人・団体観光客への情報提供や集客チャネルとして連携強化を図りました。
- ⑤訪日観光客誘致の取組と多言語ガイドシステムのPRを行いました。
- ・横浜観光コンベンションビューローと連携し、海外で開催される観光展などで海外メディアへの情報提供を行いました。
 - ・ホームページに英語ページを新設しました。
- ⑥28年1月に、公式 Facebook を開設し広報活動を強化しました。

<p>横浜市・近隣施設との連携</p>	<p>①西区を始めとした地域の市民活動支援センターの利用団体、子育て支援拠点、老人クラブなどへの施設情報・イベント情報の提供を行い、施設の認知度の向上を図りました。また、各区のイベントと連携して来館を促進しました。</p> <p>②近隣ホテルへ企画展・イベント情報の提供し、観光客(宿泊客)の来館を促進しました。</p> <p>③イベントや展覧会等の共同実施及び告知 (近隣施設連携による相互来館促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージアムクイズラリー横浜 神奈川県立歴史博物館等 11館 ・海と山と空のスタンプラリー 野毛山動物園・横浜マリンタワー ・横浜乗りものフェスティバル 原鉄道模型博物館・日産グローバル本社ギャラリー、三菱みなとみらい技術館・日本郵船歴史博物館 ・みなと春 MARCH キャンペーンに参加しイベント情報を広報 <p>④帆船日本丸・氷川丸2隻そろって85周年記念共通券の販売</p> <p>⑤横浜マリノス、JTB 旅いくフェスタ等他団体のイベントに出展参加し、施設PRを行いました。</p>
<p>海と山と丘の公園交流</p>	<p>日本丸メモリアルパーク(横浜市)、神奈川県立相模原公園(相模原市)、国営アルプスあづみの公園(長野県安曇野市・長野県大町市)の3公園交流</p> <p>①相模原公園 at 日本丸メモリアルパーク&あづみの公園共同写真展 at 相模原公園(7月～11月)</p> <p>②相模の大凧ミニチュア展示(1月)</p>